

第15回日本乳癌学会
九州地方会
教育セミナー

2018年3月3日

久留米大学放射線治療センター
淡河恵津世

症例 : 50歳 女性(閉経前)

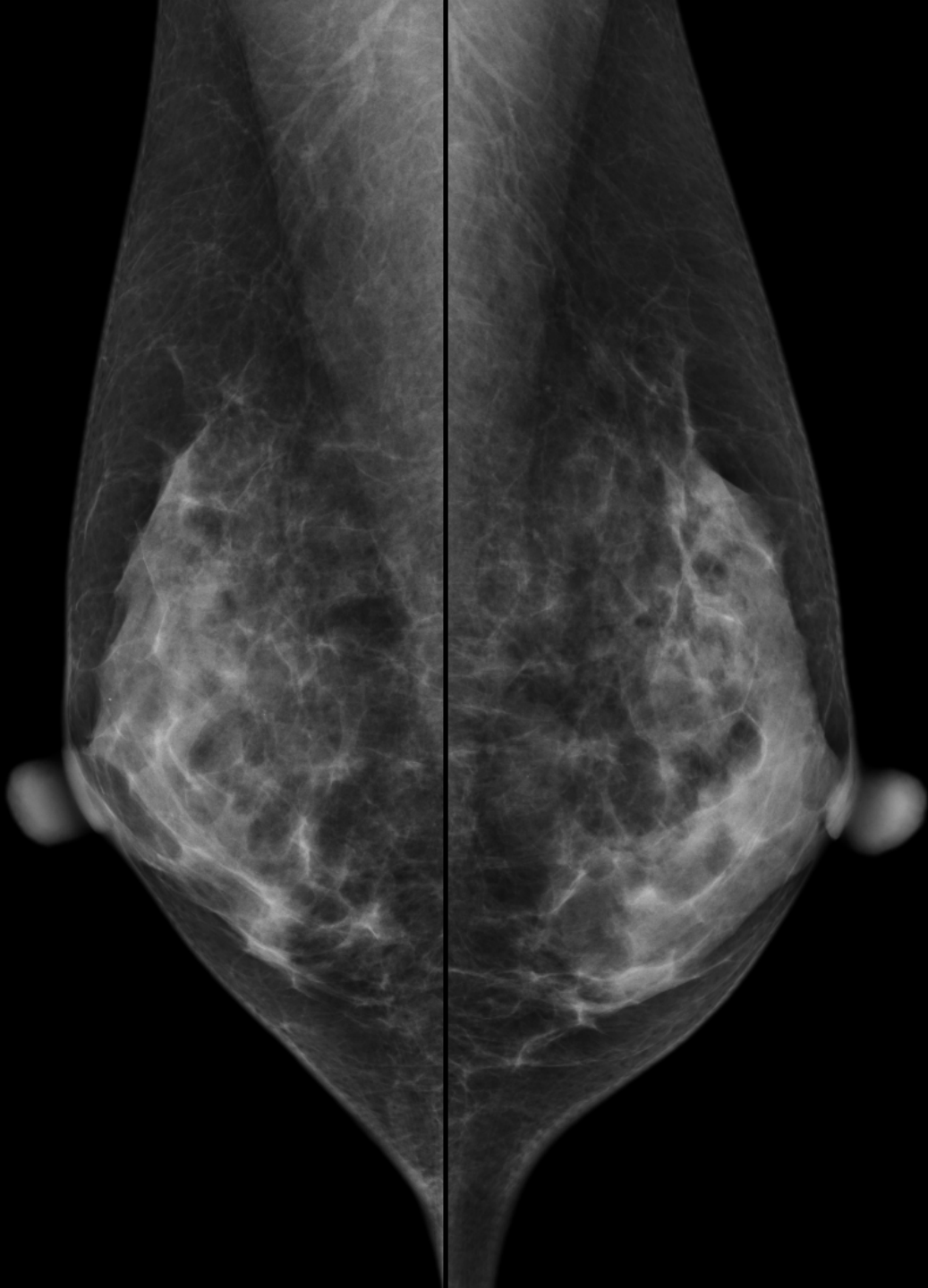
主訴 : 左乳房腫瘍

既往歴・家族歴 : 特になし

生活歴 : 食品会社経営・子供あり・パートナーあり

現病歴 : 左乳房のしこりに気づき精査を行い、
組織診にて浸潤性乳管癌と診断される。
乳房温存を強く希望し、受診となる。

生検結果 : invasive ductal carcinoma,
ER(+) PgR(-) HER(3+)



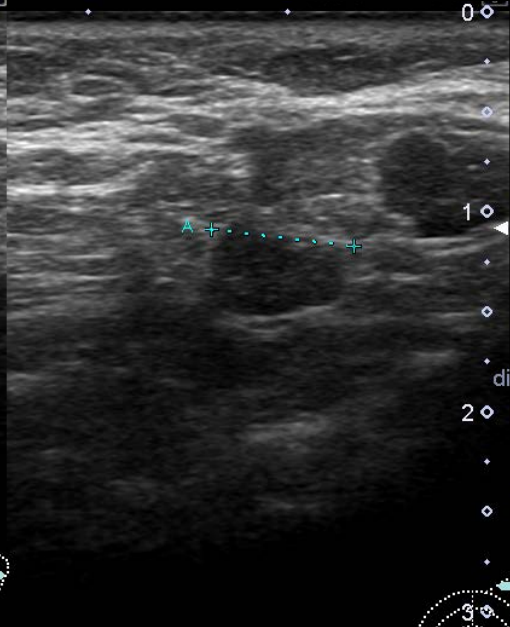
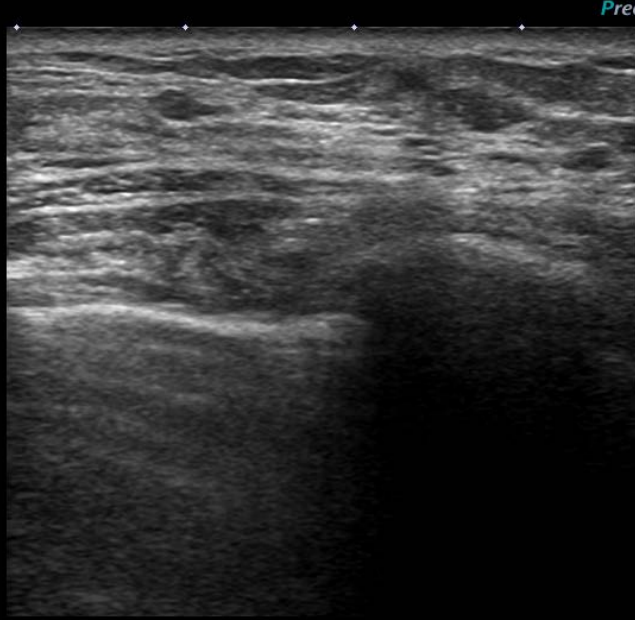
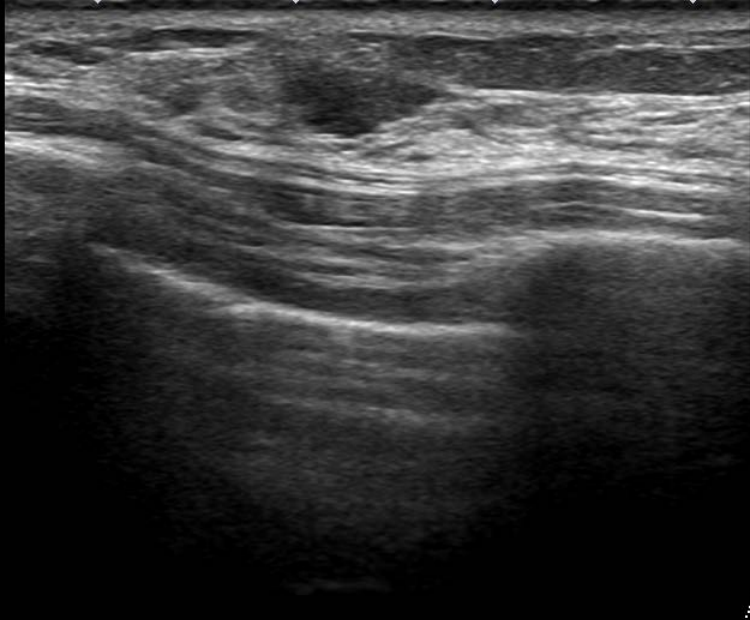
T

T

18L:
diffT13.
36 fp:
G:8
DR:7
A:
P:

1
diffT
36
D

0
1
2
3

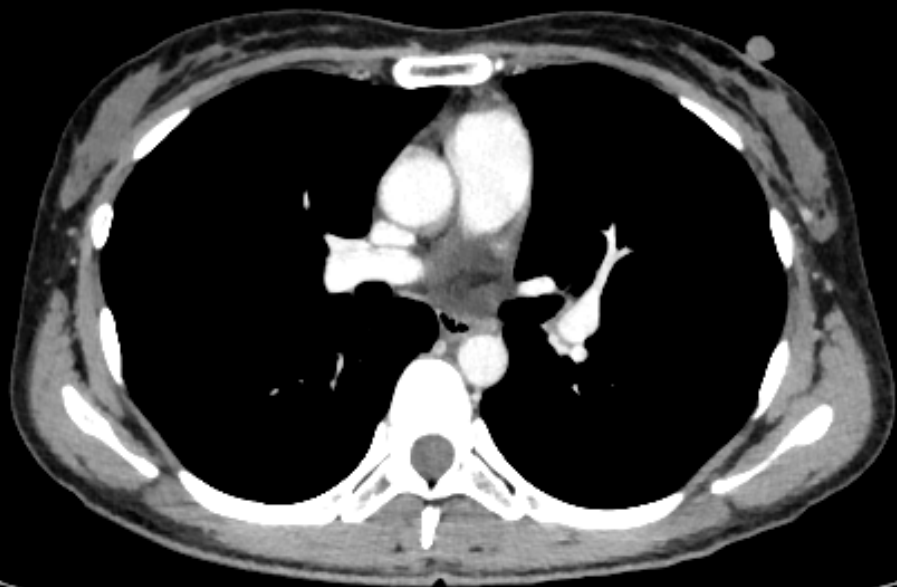
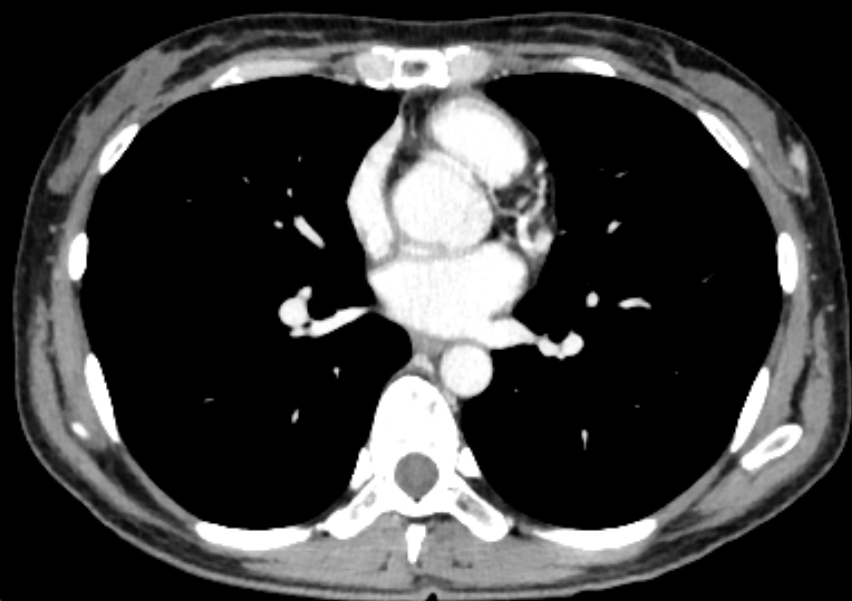
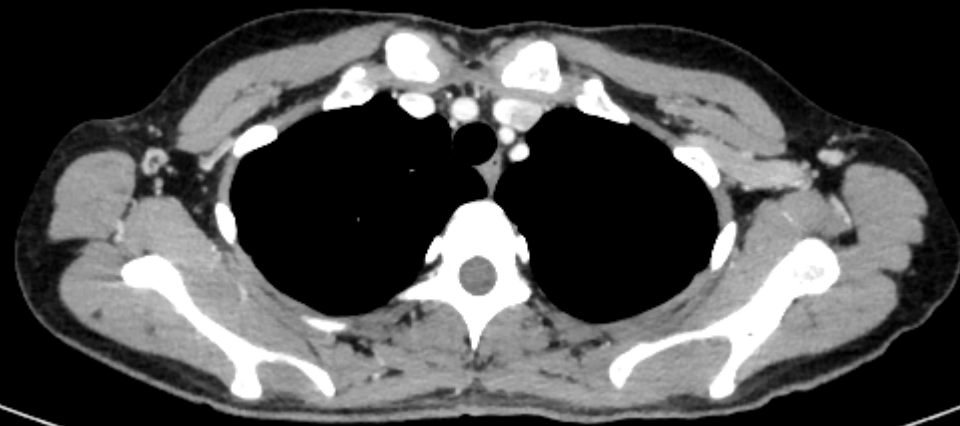


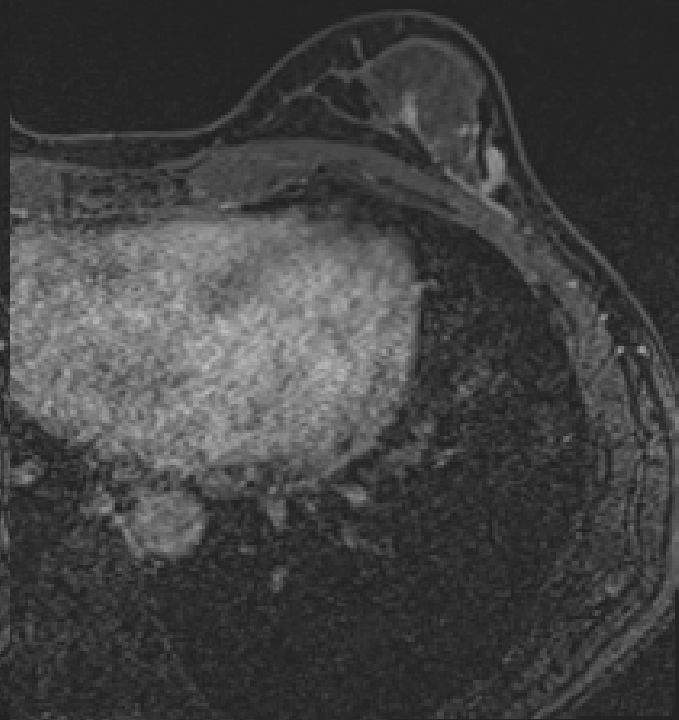
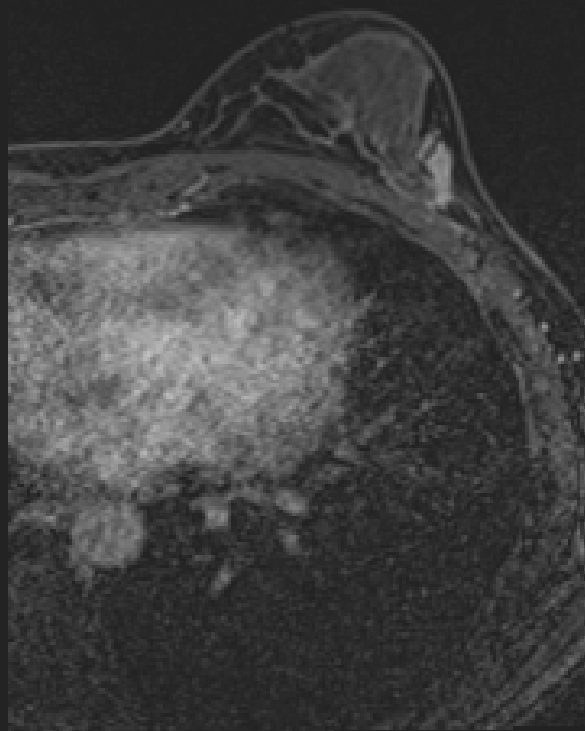
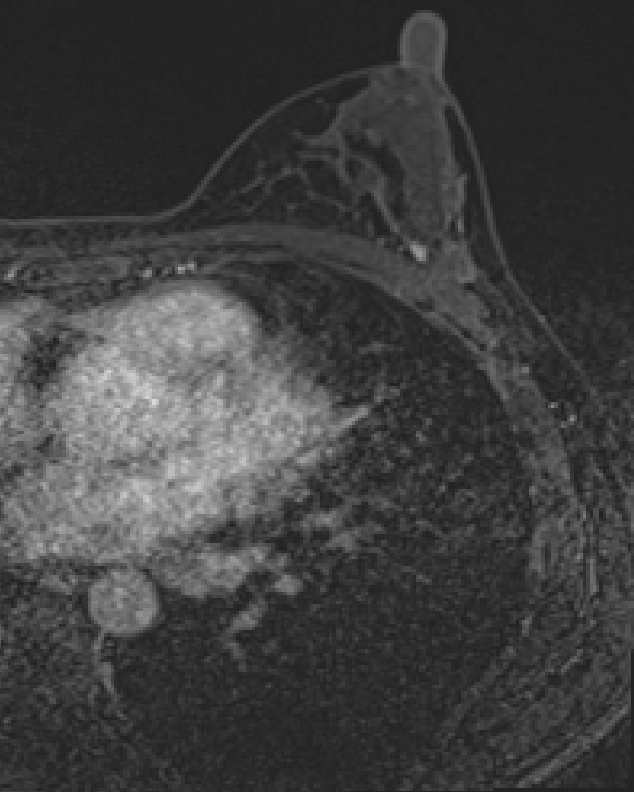
18L
diffT13.
36 fp:
G:8
DR:7
A:
P:

0
1
2
3

0
1
2
3







Discussion

患者は乳房の形態温存を強く希望している

画像より, どのような提案しますか？

Discussion

患者は乳房の形態温存を強く希望している



再建術を希望



どのような治療方針で考えますか？

病理検査結果

invasive ductal carcinoma,
 scirrhous carcinoma

ER(+) PgR(-) HER(3+)

NG=2

Ki67:40%

Ax dissection : 3/7 陽性

Discussion

患者は乳房の形態温存を強く希望している



再建術を希望



再建術を行った場合に
必要な補助療法についてはいかがですか？